

学校名	上一色中学校	対象学年と人数	全校生徒308人
活動名	上一色グリーンプラン		
指導者	学内指導者： 副校長 要務主事 学外支援者： 学校応援団 （役割分担）生徒ボランティア・アクアポニックス担当		

目標

- ・アクアポニックスを利用して環境学習を行う。
- ・学校応援団の協力を得て、学校内の花いっぱい運動を広げていく。
- ・1年生のえどがわエコセンター出前授業で、環境について考えるきっかけをつくる。

成果

- ① 今年度から教員の担当が変わり、新しい体制を作った。係りも全校朝礼で話をしてボランティアを募った。生徒たちが関心をさらにもってくれるようになり、水槽清掃のボランティアも申し出てくれた。まわりの生徒へのよい影響となり、アクアポニックスというオリジナルの循環型生態系への関心が高まった。
- ② 花の植え替えの時は、ボランティアが集まるようになり、他の場面でも生徒が気持ちよくボランティア活動をし、活動が少しずつ広がっている。上級生から下級生へ活動の内容を伝え、緑のカーテンなどにも取り組んでいきたい。
- ③ アクアポニックスから持続可能な社会に必要とされる能力を生徒に意識づけ、広げることができた。1年生は3学期に学ぶ環境学習への導入となった。

感想・課題等

（1）ボランティアの生徒の感想

- ・今までよりも、アクアポニックスについて注意して見るようになった。金魚が元気で成長しているとほっとする。このしくみを他にも知らせてあげたい。
- ・花のある学校はうれしいです。校門前は四季を通じて花がさいていて好きな場所です。
- ・金魚の水槽を掃除しました。循環がうまくいってないと心配になります。掃除は友達と4人で行いました。分解するのは大変だったけれど、きれいになって良かったです。金魚の水槽が循環によってきれいなままなのはすごいなと思った。

（2）課題

- ・今回のアクアポニックスの作成者が異動し、当初はボランティアを決めたものの順調な始まりではなかった。もう少し、学校全体としての活動になるよう教員への理解との意識を高めておく必要を感じた。
- ・3学期に1年生はえどがわエコセンターのご協力をいただき、環境学習を予定している。現3年生も1年生で環境学習をさせていただいた。学校としての環境学習の取組を整備していきたい。
- ・今年度の活動は、ボランティアの活動に頼る部分がほとんどだった。生徒の主体性を大切にし、活動方針を計画して、実行するような活動を目指していきたい。